

Ⅱ 博物館事業の概要

1. 常 設 展

常設展示を構成する資料表

区 分	実 物 資 料 標 本 類	ジオラマ 機器模型類	カラー透視写真 お よ び 写 真	図 板	計
地 学	680	22	13	28	743
生 物	1,277	4	29	37	1,347
考 古	692	4	7	22	725
民 俗	235		20	17	272
美 術	延 165				165
史 料	47		15	15	77
計	3,096	30	84	119	3,329

(1) 地学展示室 (258m²)

- ・ 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- ・ 県内の地質時代の出来事を岩石の分類と偏光投影観察装置を使用し解説。
- ・ 各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイトほか県内外の化石）。
- ・ 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ。7景。
- ・ 鉱物の特性を結晶系と化学組成分類にて解説、また県内外の有用鉱物を鉱床と関連づけて展示。
- ・ 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型。
- ・ 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- ・ 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- ・ 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達の解説展示。

(2) 生物展示室 (257m²)

- ・ 大山と砂丘の生物の垂直および水平分布とその特性。
- ・ 岩礁の生物の生態と分布（ジオラマ）。
- ・ 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- ・ 頭足類、甲殻類、魚類の分布解説と分類展示。
- ・ オオサンショウウオの卵から成体までの発育過程と飼育展示。
- ・ 鳥類の生息環境による分類と生態と鳴声を映像による解説。
- ・ 県内産のけものをはじめ外国産の鳥獣。
- ・ 貝類の生息環境による分類とくに、海産は南方、北方などの海域別に展示、ほかに陸産、淡水産。
- ・ 昆虫の分類展示（チョウ、ガ、甲虫、セミ、トンボなど）。
- ・ 植物の分類展示（樹幹、帰化植物、シダ、海藻、およびキノコ）季節による入れ替え。



生 物 展 示 室

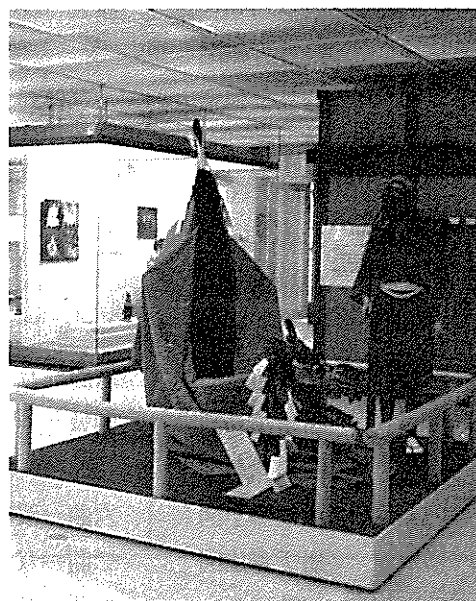
(3) 考古展示室 (258m²)

- ・ 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- ・ 弥生時代の遺物と時代編年および文化交流などの解説展示。
- ・ 古郡家一号古墳をはじめ古墳の一括資料の展示。
- ・ 県内出土の須恵器を時代編年ごとに分類展示。

- ・古墳時代の生活用具の復元展示（かまど三点セットなど）。
- ・県内出土の代表的はにわ（鹿、家、水鳥ほか）の展示。
- ・銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- ・古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、経塚出土の経筒などの展示。
- ・「古代の窓」県の埋経文化を取り上げ経塚出土品を展示。

(4) 民俗展示室（257 m²）

- ・江戸時代末から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- ・芸能娯楽用具として、人形芝居、きりん獅子、郷土玩具、影絵などの資料を解説展示。
- ・県内の特徴的な生産用具として海女、機織、製紙、木地をとりあげ、それに使用された用具を中心として解説展示。
- ・灯器、発生史的分類により初期の電球までを展示。
- ・日用品、交易、化粧、食器、その他日用品の分類展示。
- ・つのだる、婚礼に使用された各種つのだるとほかい等。
- ・年中行事、県内の代表的な民俗行事を写真と資料によって季節ごとに紹介。



民俗展示室

展示日誌

- 4.5 考古 因幡国府関係出土資料25点展示。
- 4.5 〃 「古代の窓」鳥取県の埋経関係資料39点展示。
- 7.25 地学 用瀬町山口産の巨晶花こう岩を展示。

(5) 美術展示室（260 m²）

- ・彫刻…平安時代から鎌倉時代の国、県指定の仏像を主として展示。
- ・絵画…鎌倉時代以降の仏画、江戸時代の鳥取藩絵師等の掛幅、屏風を展示。毎月1回展示替えを行っている。
- ・書跡…重要文化財の金字法華経、卷二・四を展示。
- ・工芸…平安時代以降の国・県指定の金工品、請来品の中国陶磁器、江戸時代の郷土の陶器及び染色型紙を展示。

美術常設展示室 出品目録 ◎重要文化財 ○重要美術品 ●保護文化財

《絵画》

黒田稲皐	四季花鳥図	六曲一双	江戸	個人蔵
〃	双鯉之図	軸装	〃	〃
〃	群鯉之図	〃	〃	〃
●	〃	群鯉游泳図	〃	本館蔵
●土方稲嶺	東方朔図	〃	〃	個人蔵
〃	游鯉之図	〃	〃	〃
〃	牡丹小禽図	双幅	〃	〃
〃	牡丹松孔雀図	〃	〃	〃
〃	葦間潜鯉図	軸装	〃	本館蔵
〃	蓮池游鯉図	〃	〃	個人蔵
〃	烏鷺之図	六曲一双	〃	〃



日光菩薩坐像
月光菩薩坐像

学行院

土方稻嶺	牧童図	軸装	江戸	本館蔵
〃	風雪三顧図	〃	〃	個人蔵
〃	春秋群鶴東方朔図	三幅対	〃	〃
小畑稻升	鯉之図	双幅	〃	個人蔵
〃	游鯉之図	軸装	〃	〃
建部模斎	山水図	〃	〃	本館蔵
島田元旦	青緑山水図	〃	〃	個人蔵
〃	秋景山水図	〃	〃	本館蔵
● 〃	花鳥図	六曲一双	〃	個人蔵
〃	四季花鳥図	軸装	江戸	個人蔵
〃	四季花鳥図	〃	〃	〃
中島菜刀	麒麟獅子図	六曲一双	昭和	〃
〃	樹下青嵐図	二曲一双	〃	山陰合銀蔵
橋本秀峰	和歌屏風	六曲一双	江戸	個人蔵
飯田年平	七夕図讃	軸装	〃	〃
根本幽峨	七夕之図	〃	〃	〃
〃	高砂図	六曲一双	〃	〃
三枝真洞	盆栽松靈芝図	軸装	〃	〃
〃	春園曉露図	〃	江戸	本館蔵
菅 楯彦	神倉秋景図	額装	昭和	〃
片山楊谷	東方朔図	三幅対	江戸	個人蔵
〃	老松双鶴図	軸装	〃	〃
沖 九阜	春の野図	〃	明治	〃

《仏画》

紙本	十二天画像	室町	智頭町豊乗寺	絹本	不動明王図	鎌倉	智頭町豊乗寺
〃	〃	〃	〃	〃	不動明王図	〃	用瀬町大安興寺
絹本	十六善神図	鎌倉	〃	〃	五大尊画像	〃	〃
〃	愛染明王画像	〃	〃				

《仏像》

◎木造	藏王権現立像	平安	三朝町三仏寺	●木造	大日如来坐像	平安	若桜町永福寺
〃	女神像	〃	〃	● 〃	〃	〃	〃
〃	延命観音坐像		八東町新興寺	〃	藏王権現立像	鎌倉	岩美町観照院
◎木造	月光菩薩坐像	平安	国府町学行院	木造	十二神将六軀	室町	日野町長楽寺
◎ 〃	日光菩薩坐像	〃	〃	○鉄造	聖観音立像	鎌倉	西伯町加祥区
◎ 〃	月光菩薩立像	平安	日野町長楽寺	○ 〃	十一面観音立像	〃	〃
				〃	光背（仏身欠）	〃	〃

《書跡・工芸》

◎鉄製厨子及び銘板	平安	大山町大山寺	●飾太刀拵（二口）	江戸	鳥取市栲谿神社
◎金字法華経2巻	鎌倉	鳥取市大雲院	●青磁香炉	元代	関金町地藏院
●擬宝珠（二口）	南北朝	関金町地藏院	●染織布	明代	鹿野町譲伝寺
●銅鰐口	室町	国府町清泉寺	銅 鐘	南北朝	個人蔵
◎銅 鏡	平安	三朝町三仏寺	懸 仏	室町	〃
●梵 鐘	南北朝	岩美町網代地区			



島田元旦 四季花鳥図

(6) 史料展示室 (111m²)

52年度の展示は、「村の記録」と鳥取藩人物誌3「沖探三と剛介」の二つのテーマで展示した。

・村の記録 (52.5～52.12)

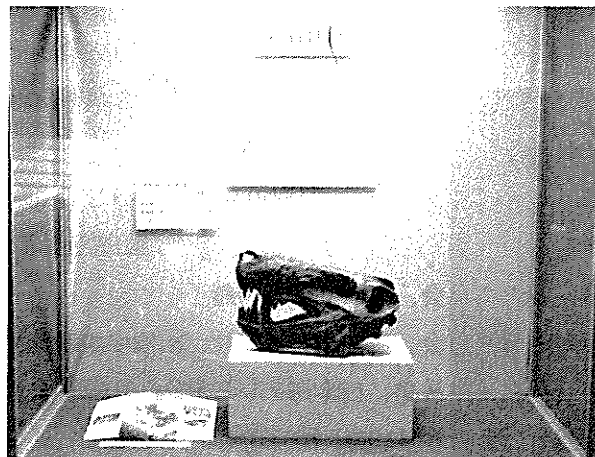
①土地、検地、②年貢、③宗門改め、五人組、④村役人、⑤産業、⑥治安の6部門で構成し、江戸時代中期、後期の農村の姿がわかるよう、庄屋、大庄屋文書の中から村の代表的な文書、記録および写真パネル（農耕図屏風）を解説展示した。

・鳥取藩人物誌3「沖探三と剛介」(53.1～)

沖探三（守固）と剛介の兄弟は幕末鳥取藩にあって尊皇攘夷派の志士として活躍した人である。幕末の激動する時代の中での彼らを、昭和48年度収集した沖家資料などにより展示紹介した。

◎新着資料展示コーナー

分 野	テ ー マ	期 間	内 容
民 俗	木 地 製 品	52.4.1～4.27	明治年間に製作された椀、盆など 4点
地 学	三葉虫のいろいろ	4.28～5.19	古生代の化石である各種三葉虫 6点
〃	南極大陸の岩石	5.20～6.30	片磨岩をはじめ各種鉱物など 7点
考 古	布勢出土の縄文土器	7.1～8.17	縄文時代後期の鉢形土器など 8点
生 物	高 原 の 植 物	8.18～9.9	大山・蒜山原の代表的草木 8点
地 学	恐 竜 化 石	9.10～10.5	イノストランチビアの頭骨
〃	鉱 物	10.6～11.30	各種マンガン鉱、珪酸塩鉱物 10点
考 古	須 恵 器	12.1～53.1.8	鳥取市辛川出土の須恵器 6点
民 俗	パキスタンの外套	53.1.10～2.17	旧チトラル王国の民族衣装
生 物	ネ コ ザ メ	2.8～3.31	日本海で採集されたサメ



イノストランチビアの頭骨

◎催 物

(1) 日本列島の野鳥展

会期 昭和52年5月28日(土)～6月19日(日)

会場 第3展示室

南北に細長い日本列島には、さまざまな野鳥が生息しており、冬、夏の渡り鳥を含めて570種が知られ

ている。しかし、これらの中には自然環境の変化や公害によってその生息地が縮少し数も激減したものがある。けれども保護することにより増えた例もある。今回の展示は愛鳥思想の高揚と自然保護への関心を高めることを目的として、山野、湖沼、河川、海岸などの生息地別に区分して、その生態を解説展示した。

主な展示内容

- | | | | |
|-------------|------|-----------|-----|
| ●野鳥の生活とその環境 | 180点 | ●野鳥の盛衰 | 15点 |
| ●野鳥の保護 | 20点 | ●野鳥に関する文献 | 20点 |

(2) 冬の民具展

会期 昭和52年11月12日(土)～11月27日(日)

会場 第3展示室

鳥取県は、雪に埋れた長く寒い冬が続く、この中で人々は寒さから身を守るためさまざまな工夫をしてきた。これらのことは日常生活用具に端的に見ることができる。しかし、こうした製品も最近、生活の近代化によって追々と影をひそめてしまった。今回の展示は、往時の雪国にみられた生活の跡を、これらの失われつつある生活用具や生産具をはじめ、冬季のいろいろな習俗をとりあげ紹介した。

主な展示内容

- 衣 類……ふんどし、つまご、かいまき、綿入れなど25点
- 日常生活用具……あんか、火鉢、こたつ、飯ふご、食料調理具など20点
- 生産用具……製紙、製炭の用具、脱穀調整具など20点
- 遊 戯 具……こま、まり、羽子板、カルタなど7点
- 冬の年中行事……冬の各種行事 20点

2 特 別 展 (館主催)

(1) 第8回日展

主 催 鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会、新日本海新聞社、山陰中央新報社、NHK 鳥取放送局、NHK 米子放送局、山陰放送、日本海テレビ放送、山陰中央テレビ放送

会 期 昭和52年4月29日(金)～5月19日(木)。

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室、美術展示室

入場者 21,811人

入館料 一般500円(団体400円) 高校生300円(団体200円) 小・中学生200円(団体100円)

明治40年に文部省美術展覧会(文展)として日本画、西洋画、彫塑の3部門で開催したのが始まりで、その後、帝国美術院展覧会(帝展)、日本美術展覧会(日展)と再三の改組、改称が行われた。今回の鳥取展は、昭和44年に改組した第8回日展である。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門からなり、昭和51年の秋、東京都美術館で開いた総数2,233点の出陳作品のうちから巡回作品として選ばれた327点

に鳥取・島根両県在住者並びに出身者の作品23点を地元作家として加えて5部門350点を展示した。なお、本県では昭和48年について2回目の開催である。

主な展示内容

●陳列点数

() は地元作品

部 門	日 本 画	洋 画	彫 刻	工芸美術	書	計
点 数	81(4)	102(8)	52(2)	58(7)	57(2)	350(23)

●主な出品作家

《日本画》(○は鳥取県出身者)

山口華楊・奥田元宋・橋本明治
 西山英雄・加藤東一・大山忠作
 東山魁夷・高山辰雄・○濱田台児

《洋画》

鬼頭鍋三郎・小山敬三・鈴木千久馬
 田村一男・岡田又三郎・井手宣通
 新道繁・森田茂・伊藤清永

《彫刻》

北村西望・清水多嘉示・澤田政廣
 松田尚之・木下繁・古賀忠雄
 富永直樹・圓鍔勝三・北村治禧

《工芸美術》

山崎覚太郎・楠部弥弼・清水六兵衛
 海野建夫・佐治正・帖佐美行
 蓮田脩吾郎・高橋節郎・岩田久利

●地元作家—23点—(○は鳥取県在住者並びに出身者、その他は島根県在住者並びに出身者)

《日本画》

○寺島節朗(京都在住)・野々内保太郎(京都在住)
 松浦満(東京在住)・小豆沢吉雄

《洋画》

○笹鹿彪(東京在住)・○高須登
 松田忠一(大阪在住)・鳥屋尾孝吉・加賀羅聡
 中木征一郎・有馬侃・井上陽照(埼玉在住)

《彫刻》

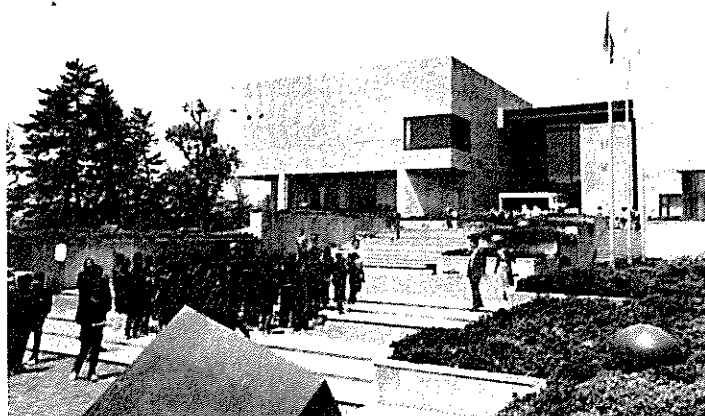
○入江甲・荒本文夫

《工芸美術》

○大坪重周(東京在住)・○上田淑子
 ○矢部雅一・○井口慶子・○南祥輝(京都在住)
 ○稻垣光知子(京都在住)・○細田育宏(東京在住)

《書》

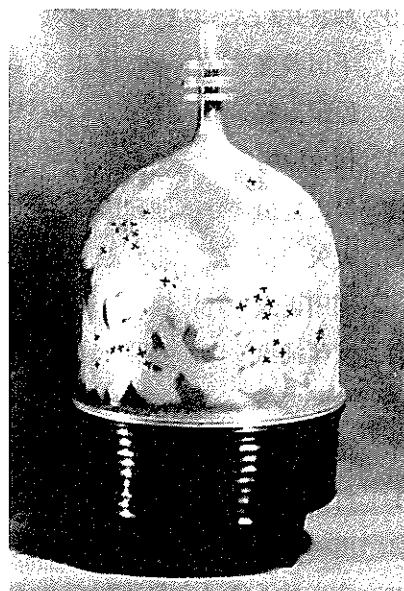
○須崎海周(大阪在住)・○山本松影(兵庫在住)



会場風景

《書》

安東聖空・大石隆子・村上三島
 金子鷗亭・西川寧・青山杉雨
 日比野五鳳・手島右卿・松井如流



帖佐美行 香炉

(2) 文化庁買上優秀美術作品展

主 催 文化庁、鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和52年8月6日(土)～8月26日(金)

会 場 第1展示室、第2展示室

入場者 5,131人

入館料 一般300円(団体250円) 高校生200円(団体150円) 小・中学生100円(団体70円)

文化庁買上優秀美術作品展は、昭和52年度国と公立美術館との提携による美術展として企画された。この美術作品の買上げは、毎年開催する国際展、美術団体展、個展のうちから、特に優れた絵画、彫刻を購入するもので、昭和34年にはじまり今日に及んでいる。今回の展示は、昭和41年度から昭和50年度の間の作品70点を展示したが、お互いに主義主張がちがう系列の作品とはいえ、いずれも水準の高い作品ばかりで、現代美術の動向もうかがえるものである。

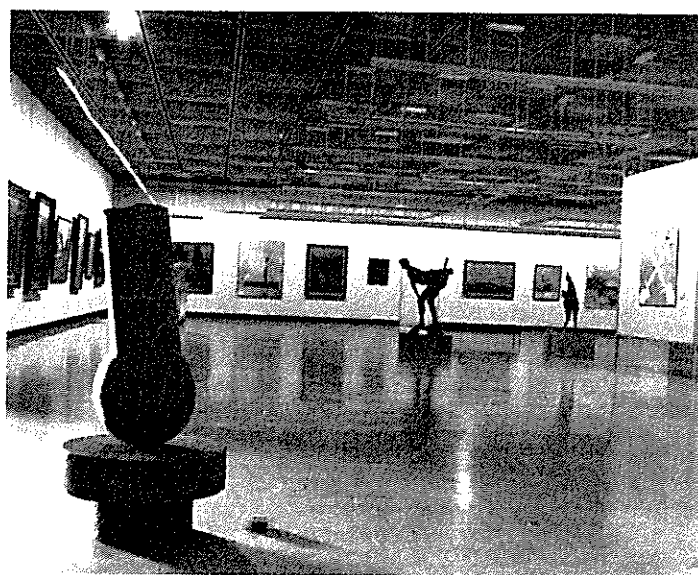
●出品目録

《日本画》(23点)

- | | |
|----------|----------|
| 1 森田曠平 | 虫合わせ |
| 2 加藤栄三 | 飛天 |
| 3 橋本明治 | 女優 |
| 4 小野具定 | 北辺 |
| 5 小林巢居人 | 水辺暁 |
| 6 中村貞以 | 香を聞く |
| 7 広田多津 | 涼粧 |
| 8 山岸 純 | 春譜 |
| 9 大森運夫 | ロマネスクの祭壇 |
| 10 加倉井和夫 | 碇と少年 |
| 11 下田義寛 | 青の時 |
| 12 佐藤太清 | 緑雨 |
| 13 松尾敏男 | 樹海 |
| 14 信太金昌 | 池苑惜日 |
| 15 大矢 紀 | 北の湖 |
| 16 浦田正夫 | 煌 |
| 17 後藤純男 | 残照 |
| 18 今野忠一 | 冬樹 |

《洋画》(24点)

- | | | | |
|---------|--------|----------|-----------|
| 1 村岡平蔵 | 裸婦 | 7 織田広喜 | 噴水とマヌカン |
| 2 田村孝之介 | 古城の町 | 8 川上尉平 | 豊前香春岳 |
| 3 井上長三郎 | 委員会 | 9 田中阿喜良 | 闘牛を見る人 |
| 4 森 省一郎 | コンシアンス | 10 猪熊弦一郎 | 驚くべき風景(B) |
| 5 佐竹 徳 | オリーブと海 | 11 北川民次 | 画家の家族 |
| 6 坂本善三 | 連帯 | 12 田村一男 | 外輪山 |



会 場 風 景

- 13 藤田吉香 町(トレド)
- 14 糸園和三郎 ひとり
- 15 橋原健三 夜景
- 16 星崎孝之介 LA CREATION
- 17 富岡惣一郎 原始林
- 18 三浦俊輔 残照
- 19 本山唯雄 天使園暮色
- 20 櫃田伸也 卓上の出来事
- 21 国領経郎 砂の上の群像
- 22 三尾公三 私室の女
- 23 高田保雄 野芥子
- 24 渡辺武夫 セエヌのひとり

《版 画》(11点)

- | | | | |
|--------|-------------------|----------|------------------|
| 1 吉原英雄 | シーソーI | | |
| 2 吹田文明 | 雨のあと | | |
| 3 | 〃 | 潮 | |
| 4 木村光佑 | 現在位置—存在C | 8 井田照一 | Grey in the Shoe |
| 5 鏝 嘯 | Well, Well, Well, | 9 小野木 学 | 風景 T.L.K |
| 6 | 〃 | 10 | 〃 T.L.M |
| 7 井田照一 | Shadow of a tree | 11 関野準一郎 | 紅型(沖縄連作の内) |

《彫 刻》(12点)

- | | | | |
|---------|--------|---------|-------------|
| 1 淀井敏夫 | 聖マントヒヒ | 7 堀川 恭 | 惑星 |
| 2 大内青圃 | 風神雷神 | 8 三坂耿一郎 | フォルムI |
| 3 峯 孝 | 髪 | 9 千野 茂 | 花を持つ少女 |
| 4 大須賀 力 | 若き女 | 10 保田春彦 | プロジェクトB |
| 5 安田周三郎 | 蹲る | 11 野水 信 | コンタクト(球と円筒) |
| 6 和田金剛 | 蒼河 | 12 伊東 傀 | トリ |



中村貞以 香を聞く

(3) 失われた生物—化石の世界—

主 催 鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

会 期 昭和52年10月8日(土)~11月6日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室

入場者 25,583人

入館料 一般500円(団体400円) 高校生300円(団体200円) 小・中学生200円(団体100円)

失われた生物は、長い地球の歴史の中で失われるべくして亡び去った生物たちである。地球上に生命が誕生してから今日までに、30数億年の時間が流れた。その間、多くの動植物が栄えては亡んだ。これらの歴史は決して空想ではなく、地層中に秘められた化石によって事実として裏付けられる。今回の展示は、地球上に生命が誕生してから人類の出現(約200万年前)の間のできごとを、動植物の栄枯盛衰を中心に5テーマにまとめ展示した。

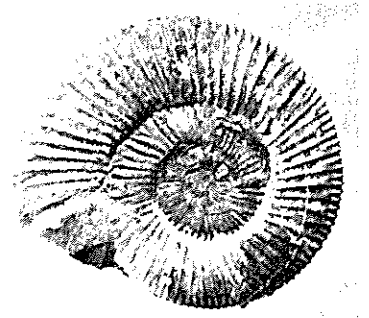
主な展示内容（展示点数 450 点）

●石の中の秘密（60点）

含化石各種堆積岩（フズリナ石灰岩、腕足類石灰岩……）
各種生痕化石（鳥の足あと、ふなくいむしあと……）
偽化石（豆灰、しのぶ石、漣痕……）

●生命は海から（150点）

コレニア（その縦断面と横断面）
三葉虫のいろいろ（レドリキア、バイリエラ……）
カブトガニの系統（カブトガニの化石、カブトガニの三型……）
腕足類、ウミユリ、サンゴ
コノドント（微化石、拡大模型……）
大昔の頭足類（異常巻アンモナイト、直角石、オオムガイ……）
生きている貝化石と絶滅した貝（オキナエビス……）



アンモナイト

●海から陸へ（70点）

古生代の魚類（甲冑魚、古代サメ、総鱗類とシーラカンス……）
中生代の魚類（ブラジルの魚類、新発見のデイプロミスタス……）
新生代の魚類（イキウス、サメの歯化石、鳥取層群の魚類……）
両生類の出現（エリオプス、オオサンショウウオ……）
大森林の形成（大嶺の三疊紀植物群……）
古世代の昆虫（巨大なトンボ、メガネウラ、……）
新生代の昆虫（照来層群と辰巳峠層の昆虫、ムカシトンボ……）



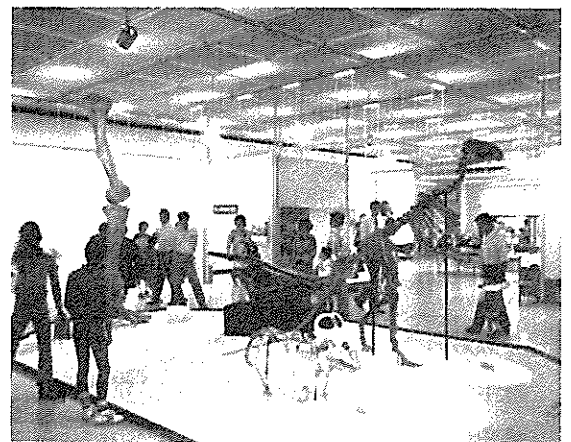
始祖鳥

●恐竜の時代（20点）

小型の恐竜（メソザウルス、ホメオザウルス……）
草食性恐竜（トリケラトプス、プロバクトサウルス……）
肉食性恐竜（ディメトロドン、イノストランケビア……）
首長竜の発見（フタバスズキリュウの産出状況……）
鳥類（始祖鳥、最大の鳥エピオルニスの卵）

●新しい時代のあけぼの（150点）

哺乳類の時代（奇獣デスモスチルス……）
暑かった日本列島（備北、鳥取層群の貝類と植物）
ブナの森林（辰巳峠層の植物群）
人類の誕生（プレジアントロプス復元胸像）



会場風景

3 館外主催展

展 覧 会 名	期 間	内 容	入館者数	主 催 者
鳥取大学開学記念 美術展	52. 6. 19～6. 25	書、絵画、彫刻、工芸、写真 122点	593 ^人	鳥取大学
日 本 の 書 展	52. 7. 20～7. 24	書 約 200点	1,710	山陰中央新報社
浜田重雄(宣伴) 画業回顧展	52. 9. 1～9. 11	油絵 97点	2,532	鳥取一中黒鳳会
鳥 取 県 美 術 展	52. 9. 18～9. 27	絵画、彫刻、工芸、書、写真 519点	(7,093)	鳥取県教育委員会
鳥取県書道連盟展	52. 11. 12～11. 16	書 約 200点	741	鳥取書道連盟
中・四国国立大学 連合美術展	52. 11. 21～11. 27	絵画、彫塑、工芸、デザイン 約190点	688	鳥取大学(主管)
鳥取県高等学校 美術書道展	52. 12. 4～12. 10	絵画、彫刻、工芸 200点 書122点	1,330	鳥取県教育委員会 ほか
合 計			7,594	

4 教育普及活動実施状況

博物館活動の一環として館内外において、天体観望会、観察、見学会、講座、講演会、映写会を開催した。

事 業 名	月 日	内 容 ・ 場 所	講 師	参加者
天体観望会	8. 5(金)	夏の星座観望会 当館前庭	当館学芸員	150
	9. 27(火)	名月を見る会 〃	〃	280
	10. 21(金)	秋の星座観望会 〃	〃	31
見 学 会 採 集 会	5. 14(土)	野鳥の声を聞く会 鳥取市樗谿公園	〃 外	78
	6. 5(日)	自然と歴史を訪ねる会 弓ヶ浜、島根半島	当館学芸員	46
	8. 7(日)	化石採集会 島根県玉湯町布志名	〃	38
	9. 14(水)	虫の声を聞く会 鳥取市樗谿公園	〃 外	46
	10. 10(月)	神楽獅子舞見学会 鳥取市岩坪	神戸公民館主事 山根定実	22
	10. 15(土)	キノコを調べる会 鳥取市樗谿公園	当館学芸員外	42
	10. 22(土)	上神山焼見学会 倉吉市上神	上神山焼窯 山根藤一	56
	10. 23(日)	自然と歴史を訪ねる会 東郷町東郷湖周辺	当館学芸員	43
標本の名前 を調べる会	8. 24(水)	標本の名前を調べる会	当館学芸員外	150
講 演 会	5. 29(日)	スライドによる鳥たちのくらし	当館学芸員	55
	10. 16(日)	山陰の化石と自然	鳥取大学教授 赤木三郎	200
講 座	5. 28(土)	伝統工芸と本地	当館学芸課長	10
	6. 4(土)	木地師の習俗	河北中学校教諭 今村 実	14
	6. 11(土)	鳥取藩の木綿と藍の歴史	当館学芸員	21
	6. 18(土)	弓ヶ浜の綿から絹まで	工業試験場境港分場長 湊 光朝	24
	10. 15(土)	鳥取県の化石	当館学芸員	15
	10. 22(土)	松江周辺の化石	県警本部鑑識課 竹林慶謹	13
	10. 29(土)	化石よもやま話	青谷高校教諭 山家浩晶	17
	11. 5(土)	生きている化石動物	当館学芸員	13

講座 (小・中学生)	7.31(日)	親と子の博物館野外教室	米子市	当館学芸員	60
	8.10)8.2(火)	第4回博物館中学生講座	江府町	〃	92
映 写 会	4.3(日)	元禄文化、藩校と寺小屋			50
	4.10(日)	水と生活、地球と生命			34
	6.5(日)	日本の印刷の文化、自然林を育てる			13
	6.12(日)	鹿島の太陽と緑の中で、うずしお			23
	7.3(日)	棟方志功の世界			26
	7.10(日)	若戸大橋			9
	8.7(日)	生活と工芸、彫塑と表現			9
	8.14(日)	〃 〃			10
	9.4(日)	地球の生命			48
	9.11(日)	首都高速道路			23
	10.2(日)	ダーウィンの自然選択説、人類の進化			30
	10.9(日)	〃 〃			100
	11.6(日)	〃 〃			51
	11.13(日)	床の間と床飾り			15



化石採集会



標本の名前を調べる会

資料貸し出し

貸し出し先	期 間	資 料 名	備 考
県衛生環境部自然保護課	52.6.8～6.10	ヤマネ(剝製) 2点	大山自然科学館展示
倉 吉 博 物 館	52.8.11～9.6	植物化石 20点	夏休みこども博物館 展示
		樹 幹 12点	
		キノコ 10点	
		考古資料 28点	
		絵画「小庭」等 5点	
		史料絵図 4点	
島根県教育文化財団	52.9.10～11.3	考古資料 8点	「古代の出雲」展
鳥取東高等学校	52.9.16～9.19	天体写真等 57点	鳥取東高祭
倉 吉 博 物 館	52.10.15～11.30	考古資料 33点	「山陰の須恵器」展
倉 吉 本 の 会	52.10.13～10.28	鳥取の年中行事写真 40点	郷土出版物展示会
鳥取市教育委員会	52.10.28～11.25	商売往来図等 74点	「明治の商売往来」展
倉 吉 博 物 館	52.5.26～7.6	鍛刀工程品等 一式	倉吉の織物と鍛冶展
鳥取一中黒鳳会同窓会	52.8.31～9.12	絵画「青年像」等 5点	浜田宣伴画業回顧展
神奈川県立近代美術館	52.10.10～11.30	絵画「棟梁の家族」 1点	日本洋画を築いた巨匠展

5 調査研究活動

調査研究

分野	事項
地 学	○特別展失われた生物—化石の世界—に関する展示構想と企画について調査し展示を実施した。その概要は展示解説書（42ページ）にまとめた。 ○鳥取県産の化石について、これまで収集していた資料を再整理しまとめた。（化石資料目録3）
動 物	○鳥取県東部海岸における打ち揚げ貝のうち、特に微小貝について分類学的記録を進め、その結果をまとめた。（研究報告15号）
植 物	○鳥取市内の暖帯林と砂丘地における「キノコ」の生態、形態的調査を行った。 ○鳥取県内を中心とした種子植物の収蔵標本について整理した。（種子植物目録）
考 古	○因幡地方における群集墳と横穴式石室の調査研究、とくに鳥取平野周辺の古墳の分布について、その基礎資料の収集と整理をした。 ○昭和53年度特別展「縄文の文化」の展示構想と企画に関する調査をした。
民 俗	○鳥取県中部でみられる正月行事のうち、特に歳徳神のまつり方、性格などにつき調査した。（研究報告15号） ○民俗常設展示の「鳥取県の生産」を年次的にテーマを変えるべく構想とその企画について調査した。
美 術	○特別展「日展」「文化庁買上優秀美術作品展」に関する展示企画と資料の調査をした。 ○鳥取県関係画家の作品調査、学行院、長楽寺等の仏像調査、鏡像、懸仏、染色の型紙、譲伝寺亀井公請来品等を調査、収集し展示した。 ○昭和53年度特別展「近代日本画名作展」「世界の現代陶芸展」の展示企画と資料の調査をした。 ○昭和54年度開催予定の特別展「山陰の仏教美術展」に関する展示構想と企画について調査した。
史 料	○池田家資料の日記類とくに御国日記の検討をした。 ○谷田亀寿収集文書、楨原村加藤家文書（鳥取市）、西紙屋文書（赤碕町）を調査した。 ○法務局寄贈地図類の整理をした。 ○農村文書を中心とした「村の記録」、沖家文書を中心とした「沖探三と沖剛介」の展示をした。

研究報告書等の刊行

名 称	規 格	ページ数	部 数
博 物 館 年 報 （昭和51年度）	B 5	24	500
郷 土 と 博 物 館 第23巻 第1号	A 5	32	1,000
〃 第23巻 第2号	A 5	30	1,000
所蔵資料目録18 （種子植物）	A 5	32	500
〃 19 （化石資料）	A 5	36	500
研 究 報 告 第15号	B 5	34	500
資料調査報告書 第5集（谷田亀寿氏収集資料、岡嶋家追加資料）	B 5	36	300